

主要な課題

- ・ **地球上から飢えをなくすこと。**2050年までに世界の人口は50%増加し90億人に達すると予測されるが、この全人口を養うために十分な食料生産を確保するだけでなく、すべての人が活動的で健康な生活に必要な食料にアクセスすることを保障する方法を見出すこと。
- ・ 世界の食料安全保障をより**整合的、かつ効果的に統治するシステム**を構築すること。
- ・ 国際一次産品市場で**途上国が競争に参加する公正な機会を得ること**、および国際市場を不公正に歪曲することなく農業を支援すること。
- ・ **すべての国の農業者が**それぞれの国の他産業従事者と遜色のない**所得を得ることができるよう**にする方法を見出すこと。
- ・ **農業および農村インフラへの実質的、追加的な公共および民間セクターの投資を動員し**、途上国の農民、特に低所得食料不足国の農民が食料生産と生産性を向上させるための近代的な投入資材にアクセスすることを保障すること。
- ・ 現在30カ国以上が食料に関する非常事態に直面していることを考慮し、**食料危機に早期に対応するためのより効果的なメカニズム**に合意すること。
- ・ 各国が確実に**気候変動に適応し**、その負の影響を緩和できるように準備すること。

なぜ2009年に世界食料サミットを開催するのか？

世界的に食料不安の状況が悪化し、人類の深刻な脅威となり続けています。途上国では食料価格が執拗に高いままで、近年飢えに苦しむ人々の数は近年容赦なく増加しています。世界の経済危機で職が奪われ更なる貧困に陥ることが、状況の悪化に追い討ちをかけています。FAOの推計では、2009年に飢えている人々の数が更に1億人以上増え、10億人の大台を超えることもあり得ます。

ジャック・ディウフ FAO 事務局長は、この危機に立ち向かう主要な取り組みの合意を形成するために、食料安全保障に関する世界サミットを提案しました。彼は、こう述べています。

「全人類の6分の1に影響を及ぼしているこの静かな飢えという危機は、世界の平和と安全保障に深刻な危険をもたらしています。私たちは、早急かつ全面的な世界の飢餓撲滅について基本的な合意を形成しなくてはなりません」。

行動計画

貧しい国々は、農業生産と生産性を増加させるために、開発、経済的・政策的手段を必要としています。ほとんどの貧しい国々にとっては、健全な農業セクターは飢えと貧困を克服するために必須であり、またすべての経済成長の前提条件であることから、農業投資の増大が必要です。現在の食料危機の重大さは、農業への投資が過去20年にわたって過小であったこと、そして農業セクターが無視されてきたことの結果です。直接的あるいは間接的に、農業は世界の貧しい人々の70%に生計手段を提供しているのです。

↓英語の下に日本語を併記する。

【ニュース】

- FAO が食料安全保障に関する世界サミットの宣言に関する議論を開始
2025 年までに飢餓を撲滅し農業へのさらなる投資を求めることを呼びかける
2009 年 7 月 31 日

- サウジアラビアが FAO の世界食料安全保障サミットへ資金提供
11 月の会合で飢餓撲滅を討議する
2009 年 7 月 30 日

【主要文書】

- 食料安全保障に関する世界サミットの目的と可能な決定に関する事務局からの提案
- 世界的な食料安全保障に関するラクイラ G8 共同声明

【FAO 関連リンク】

- 世界の食料事情
- バイオエネルギー
- 気候変動
- 天然資源管理と環境
- 世界食料安全保障と栄養フォーラム

● ページ右側

サミットへの道

- ・ 10 月に、3 つの重要なイベントがサミットの基礎固めをします。

2050 年の世界をいかに養うか ハイレベル専門家会合

2009 年 10 月 12-13 日

10 月 12~13 日に開かれる、「**2050 年の世界をいかに養うか** ハイレベル専門家会合」では、今世紀半ばに世界人口がピークを迎え 92 億人近くになった時、世界中の人々を養うことを確保するために世界各国の政府が採用を検討すべき政策選択肢を検証します。

世界食料安全保障委員会

2009 年 10 月 14-15-16 日

「**世界食料安全保障委員会**」は、食料安全保障を国際的に管理・実施するにあたり、より効果的な役割

を果たすことができるようになるための改革について検討する会合を開催します。

世界食料デー

2009年10月16日

今年の**世界食料デー**、10月16日は、「危機における食料安全保障」に焦点をあてます。